

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- かしこく（知） なかよく（徳） たくましく（体） かがやく子の育成
- 確かな学力の向上に向けた太陽の子育成プランの推進
- 家庭・地域と連携した学習活動の充実

＜本年度の学力向上策＞

- 1 授業力向上を目指した校内研修の充実
＜研究主題＞主体的・対話的に学ぶ授業の実践を通して、より深く考え、思いを表現する太陽の子の育成
 - (1) アクティブ・ラーニングの視点をもとにした授業を実践する。
 - (2) 一人1回は研究授業等を行い、指導主事等から指導を受ける。
 - (3) 授業参観シートを活用しながら他の教員の授業を参観することで、授業力の向上を図る。
- 2 全国学力・学習状況調査と市学習状況調査とのS-PDCAサイクルの実現
 - (1) 各学習状況調査の分析を行う校内組織を構築する。
 - (2) 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえ、学力向上への取組を構築し、実践する。
 - (3) 少人数指導やTT、SAを活用した、個に応じた学習指導を推進する。
- 3 家庭・地域と連携した学習環境の整備
 - (1) 保護者・地域の方に授業への協力を呼びかけ、学習活動を充実させる。
 - (2) 太陽の子学習の手引きの見直しと活用を行う。

＜本年度の振り返り＞

- 学校課題研修を中心に、主体的・対話的な授業の実践に取り組んだ。学校評価の児童アンケートにおいて、「学校の勉強によく取り組んでいる」と肯定的に回答をした児童が95%を超え、「勉強がよくわかる」と肯定的な回答をした児童は、93%を超える結果となった。経験年数の浅い教員が増えていることから、今後も研鑽を積み、学校全体として授業力の向上に努めていく。
- 前年度のさいたま市学習状況調査と今年度の全国学力・学習状況調査の結果について、校内研修や学校カウンセリング研修等を通じて本校の実態を分析、情報の共有を図った。1月の「平成30年度さいたま市学習状況調査」では、全ての学年、教科で良好な結果となり、全体として学力が概ね身に付いていると捉えられる。
- 社会科や生活科、家庭科等で保護者や地域の方に授業サポートを依頼し、児童にきめ細やかな支援をしていただいた。また、読み聞かせボランティアやお掃除ボランティア、防犯ボランティア等、家庭や地域と連携し、学習環境を整備することができた。